

平成 21 年 結果の概況

I 情報技術関連の機器・サービスの保有・利用状況

1 概要

(1) インターネットが利用できる機器のうち保有割合が最も高いのはパソコン

世帯全体において、インターネットが利用できる機器を保有している世帯の割合は67.1%で、前年に比べ3.2ポイントの上昇となっている。

また、インターネットが利用できる機器の保有状況（複数回答）をみると、パソコンが59.0%（機器保有世帯の87.9%）と最も高く、次いで携帯電話機（携帯電話・PHS）が47.7%（同71.1%）などとなっている。これを前年と比べると、パソコンは3.4ポイントの上昇、携帯電話機（携帯電話・PHS）は1.5ポイントの上昇となっている。（表1、図1）

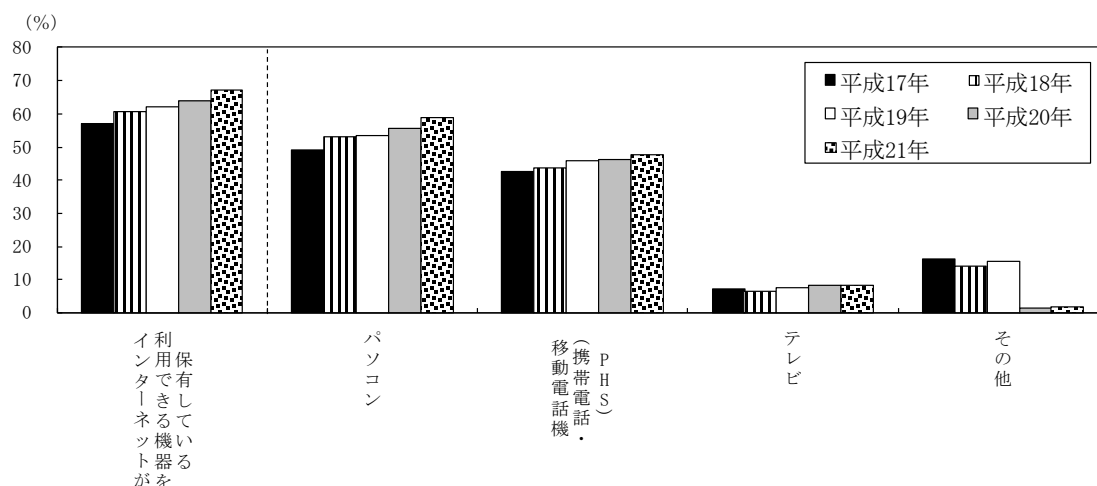
表1 インターネットが利用できる機器の保有状況

	保有している					保有していない
	パソコン	携帯電話機 (携帯電話・PHS)	テレビ	その他		
【世帯全体に対する割合】						
平成14年	48.8	40.4	34.7	6.2	15.0	50.1
15	53.6	45.4	39.3	6.8	16.4	45.2
16	55.8	46.9	41.9	6.7	15.7	43.1
17	57.0	49.1	42.5	7.2	16.4	41.8
18	60.5	53.2	43.7	6.5	14.1	37.8
19	62.1	53.5	45.9	7.6	15.5	36.5
20(a)	63.9	55.6	46.2	8.1	1.3	35.6
21(b)	67.1	59.0	47.7	8.4	1.7	32.5
ポイント差(b-a)	3.2	3.4	1.5	0.3	0.4	-3.1
【「インターネットが利用できる機器を保有している」世帯に対する割合】						
平成14年	100.0	82.8	71.1	12.7	30.7	-
15	100.0	84.7	73.3	12.7	30.6	-
16	100.0	84.1	75.1	12.0	28.1	-
17	100.0	86.1	74.6	12.6	28.8	-
18	100.0	87.9	72.2	10.7	23.3	-
19	100.0	86.2	73.9	12.2	25.0	-
20	100.0	87.0	72.3	12.7	2.0	-
21	100.0	87.9	71.1	12.5	2.5	-

(注) 保有している機器の種類は複数回答。

平成14年から19年までは、保有している機器の種類として、携帯情報端末(PDA)、テレビゲーム機、固定電話機も個別に調査していたが、本表においてこれらは「その他」に含めて表章している。

図1 インターネットが利用できる機器の保有状況（世帯全体に対する割合）



(2) インターネットの利用時間が最も長い通信手段の割合が最も高いのは光ファイバー回線

世帯全体において、インターネットを利用している（世帯が保有している機器による利用。ただし、電話機での直接の利用は除く。）世帯の割合は53.3%で、前年に比べ3.7ポイントの上昇となっている。

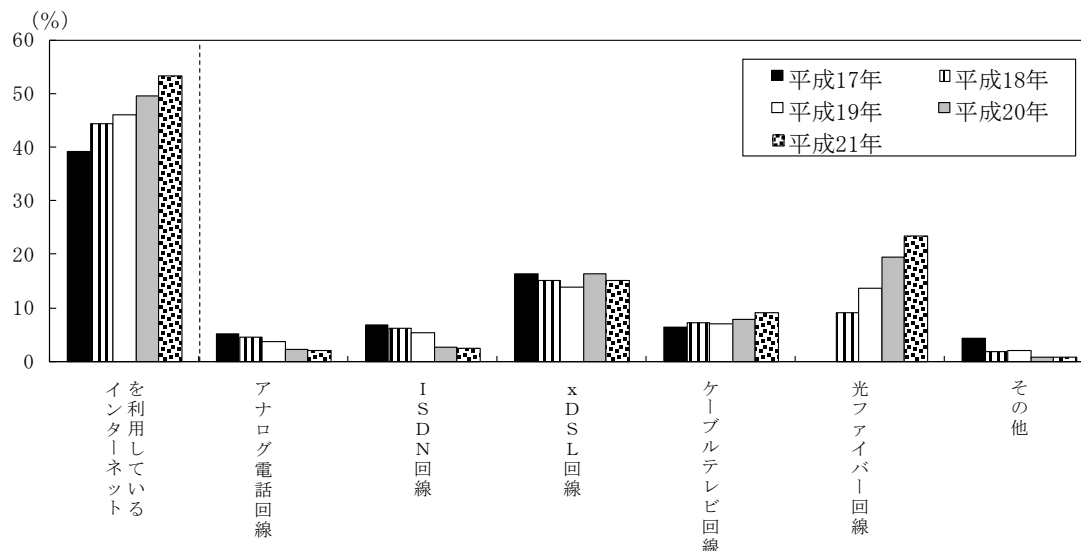
また、利用時間が最も長い通信手段の割合をみると、光ファイバー回線が前年に比べ3.9ポイント上昇し23.3%（インターネットを利用している世帯の43.7%）と最も高く、次いでxDSL回線が15.1%（同28.3%）、ケーブルテレビ回線が9.1%（同17.1%）、ISDN回線が2.4%（同4.5%）などとなっている。（表2、図2）

表2 インターネットの利用時間が最も長い通信手段

	インターネット を利用して いる	アナログ 電話回線	ISDN 回線	xDSL 回線	ケーブル テレビ 回線	光ファイバー 回線	その他
【世帯全体に対する割合】							
平成14年	26.0	9.4	6.8	4.8	2.7	...	2.1
15	34.8	9.1	6.8	11.8	4.4	...	2.4
16	36.1	6.1	6.2	15.1	5.2	...	3.2
17	39.1	5.2	6.8	16.3	6.3	...	4.2
18	44.4	4.6	6.1	15.1	7.3	9.1	1.8
19	45.9	3.6	5.4	13.8	6.9	13.6	2.1
20(a)	49.6	2.2	2.7	16.3	7.8	19.4	0.8
21(b)	53.3	2.0	2.4	15.1	9.1	23.3	0.8
ポイント差(b-a)	3.7	-0.2	-0.3	-1.2	1.3	3.9	0.0
【「インターネットを利用している」世帯に対する割合】							
平成14年	100.0	36.2	26.2	18.5	10.4	...	8.1
15	100.0	26.1	19.5	33.9	12.6	...	6.9
16	100.0	16.9	17.2	41.8	14.4	...	8.9
17	100.0	13.3	17.4	41.7	16.1	...	10.7
18	100.0	10.4	13.7	34.0	16.4	20.5	4.1
19	100.0	7.8	11.8	30.1	15.0	29.6	4.6
20	100.0	4.4	5.4	32.9	15.7	39.1	1.6
21	100.0	3.8	4.5	28.3	17.1	43.7	1.5

(注) 光ファイバー回線は平成18年から調査項目としている。17年までは「その他」に含まれていた。
インターネットの利用は世帯が保有している機器による利用。ただし、i(L)モードなどの電話機での直接の利用を除く。

図2 インターネットの利用時間が最も長い通信手段（世帯全体に対する割合）



(3) インターネットを通じて注文をした世帯の割合は上昇

世帯全体において、商品・サービスの購入（着信メロディのダウンロードなどは除く。）のためのインターネットの利用状況を見ると、インターネットを通じて注文をした世帯員がいる世帯の割合は25.5%で、前年に比べ3.0ポイントの上昇となっている。

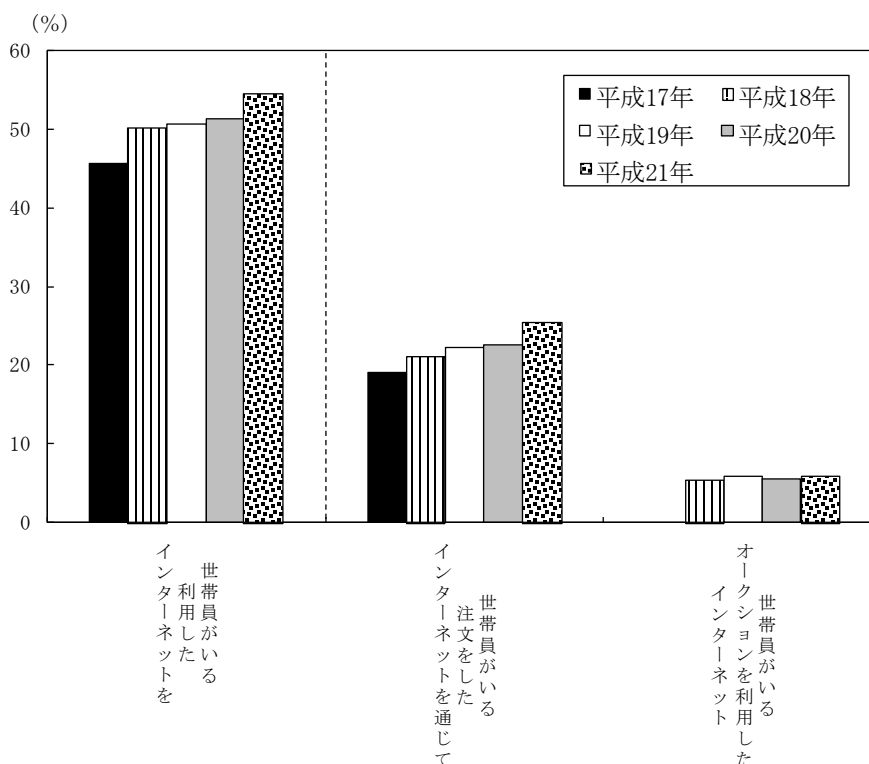
また、インターネットオークションを利用した世帯員がいる世帯の割合は6.0%で、前年に比べ0.5ポイントの上昇となっている。（表3、図3）

表3 商品・サービスの購入のためのインターネットの利用状況

	インターネットを利用した世帯員がいる	商品・サービスの購入のためのインターネットの利用について	
		インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	インターネットオークションを利用した世帯員がいる
【世帯全体に対する割合】			
平成14年	37.0	11.5	...
15	41.6	14.8	...
16	42.6	16.6	...
17	45.6	19.1	...
18	50.2	21.1	5.5
19	50.7	22.3	5.8
20(a)	51.3	22.5	5.5
21(b)	54.5	25.5	6.0
ポイント差(b-a)	3.2	3.0	0.5
【「インターネットを利用した世帯員がいる」世帯に対する割合】			
平成14年	100.0	31.1	...
15	100.0	35.6	...
16	100.0	39.0	...
17	100.0	41.9	...
18	100.0	42.0	11.0
19	100.0	44.0	11.4
20	100.0	43.9	10.7
21	100.0	46.8	11.0

(注) インターネットオークションを利用した世帯員の有無は平成18年から調査項目としている。

図3 商品・サービスの購入のためのインターネットの利用状況（世帯全体に対する割合）



2 世帯主の年齢階級別

(1) すべての年齢階級でインターネットが利用できる機器の保有割合が上昇

二人以上の世帯について、インターネットが利用できる機器を保有している世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が90.6%と最も高く、次いで30～39歳が89.9%、50～59歳が85.5%などとなっており、70歳以上が45.3%と最も低くなっている。これを前年と比べると、すべての年齢階級で上昇となっている。

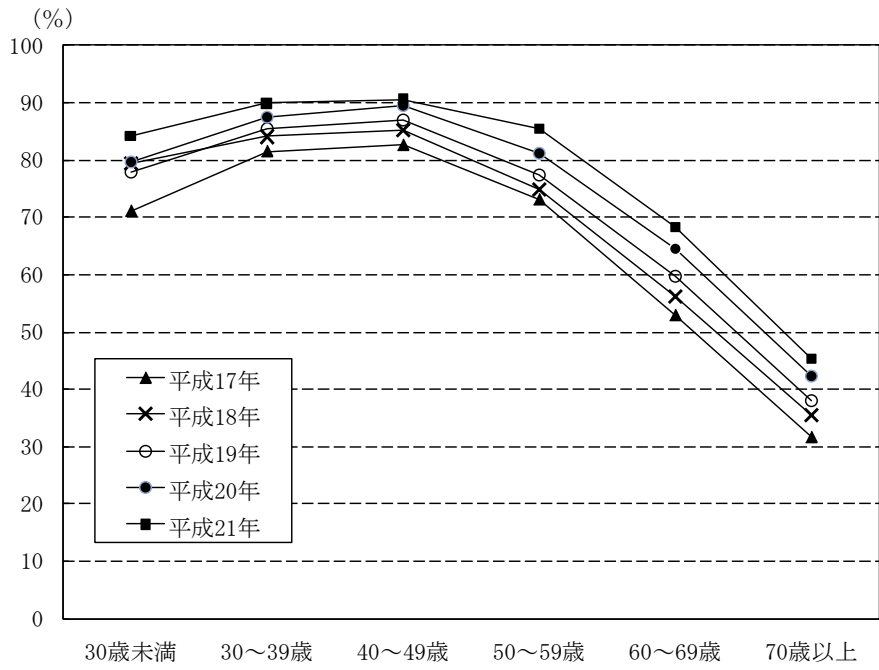
また、インターネットが利用できる機器の保有状況（複数回答）をみると、30歳以上の各年齢階級ではパソコンが最も高くなっているが、30歳未満では携帯電話機（携帯電話・PHS）が最も高くなっている。（表4、図4）

表4 世帯主の年齢階級別インターネットが利用できる機器の保有状況（二人以上の世帯）

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
(%)							
平成14年							
保有している	52.7	67.4	74.7	70.1	59.1	39.0	22.3
パソコン	45.3	47.8	62.2	60.7	52.4	33.9	19.2
携帯電話機（携帯電話・PHS）	36.5	56.0	57.8	52.1	40.5	23.1	11.2
テレビ	7.1	3.5	5.4	7.2	8.8	8.3	4.6
保有していない	46.2	32.0	25.0	29.0	40.0	59.6	75.8
平成15年							
保有している	58.6	73.4	78.9	78.1	67.4	45.4	26.4
パソコン	51.3	53.5	66.8	70.1	60.3	39.9	22.5
携帯電話機（携帯電話・PHS）	41.6	63.7	63.9	60.5	47.1	27.2	14.3
テレビ	7.6	5.4	4.5	7.6	9.8	8.6	5.7
保有していない	40.5	25.2	20.6	21.6	31.9	53.2	71.9
平成16年							
保有している	60.8	70.9	80.3	80.4	70.0	50.2	29.2
パソコン	53.1	52.9	69.2	72.0	62.7	43.3	23.8
携帯電話機（携帯電話・PHS）	44.7	63.1	66.7	63.9	51.1	32.7	16.9
テレビ	7.9	5.5	5.6	7.7	9.5	8.9	6.2
保有していない	38.3	28.4	19.4	19.0	29.4	48.8	68.8
平成17年							
保有している	62.8	71.1	81.5	82.6	73.1	52.9	31.6
パソコン	55.6	53.4	70.9	75.2	65.9	46.7	26.3
携帯電話機（携帯電話・PHS）	46.0	62.8	68.2	66.2	53.9	33.5	18.3
テレビ	8.6	5.7	6.1	7.9	10.9	9.4	7.1
保有していない	36.3	28.7	18.0	17.0	26.3	46.0	66.6
平成18年							
保有している	65.4	79.4	84.1	85.3	74.8	56.2	35.5
パソコン	59.2	62.4	73.7	79.2	68.9	51.3	30.7
携帯電話機（携帯電話・PHS）	45.9	66.8	69.6	66.4	52.0	33.6	19.6
テレビ	7.2	7.1	5.5	5.9	7.9	8.7	6.9
保有していない	33.0	19.7	15.5	14.2	23.9	41.9	61.7
平成19年							
保有している	67.5	77.8	85.4	87.1	77.5	59.7	38.0
パソコン	60.4	53.7	75.4	80.7	71.3	53.4	31.5
携帯電話機（携帯電話・PHS）	48.3	67.1	71.4	70.0	55.1	37.1	21.9
テレビ	8.4	8.6	6.6	7.2	9.2	9.5	8.2
保有していない	31.3	21.2	14.1	12.6	21.5	38.9	59.5
平成20年(a)							
保有している	70.0	79.7	87.6	89.4	81.2	64.5	42.3
パソコン	63.2	64.5	79.6	83.0	75.1	57.9	35.8
携帯電話機（携帯電話・PHS）	49.8	68.5	72.9	71.0	58.9	40.4	24.3
テレビ	8.8	10.2	7.8	7.2	8.7	10.1	8.9
保有していない	29.6	19.8	12.3	10.5	18.5	35.1	56.9
平成21年(b)							
保有している	73.7	84.2	89.9	90.6	85.5	68.3	45.3
パソコン	66.8	66.6	79.7	84.7	79.7	62.1	38.4
携帯電話機（携帯電話・PHS）	51.7	73.5	73.7	71.0	61.5	41.6	26.4
テレビ	9.7	11.0	9.9	10.0	8.7	10.2	9.5
保有していない	26.1	15.8	9.9	9.3	14.4	31.4	54.1
ポイント差(b-a)							
保有している	3.7	4.5	2.3	1.2	4.3	3.8	3.0
パソコン	3.6	2.1	0.1	1.7	4.6	4.2	2.6
携帯電話機（携帯電話・PHS）	1.9	5.0	0.8	0.0	2.6	1.2	2.1
テレビ	0.9	0.8	2.1	2.8	0.0	0.1	0.6
保有していない	-3.5	-4.0	-2.4	-1.2	-4.1	-3.7	-2.8

(注) 年齢階級ごとの世帯総数に対する割合。図4も同じ。
保有している機器の種類は複数回答。

図4 世帯主の年齢階級別インターネットが利用できる機器の保有状況（二人以上の世帯）



(2) インターネットを利用した世帯員がいる割合が最も高いのは40～49歳の世帯

二人以上の世帯について、インターネットを利用した世帯員がいる世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が81.9%と最も高く、次いで30～39歳が81.8%、30歳未満が74.2%などとなっており、70歳以上が30.1%と最も低くなっている。

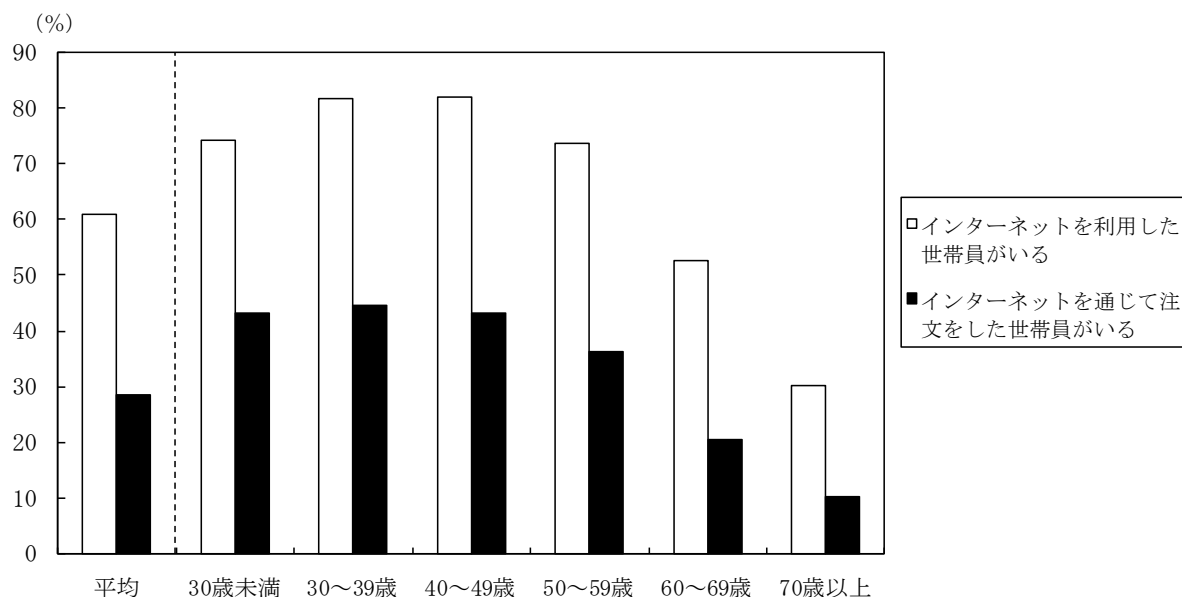
また、商品・サービスを購入する際に、インターネットを通じて注文をした世帯員がいる世帯の割合をみると、30～39歳が44.7%と最も高く、70歳以上が10.1%と最も低くなっている。(表5、図5)

表5 世帯主の年齢階級別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）

	平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
(%)							
平成14年							
インターネットを利用した世帯員がいる	39.6	55.3	61.2	55.6	43.7	26.5	13.4
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	12.1	17.1	22.8	16.1	13.2	7.5	3.1
平成15年							
インターネットを利用した世帯員がいる	44.8	59.0	66.1	63.9	51.4	31.2	16.4
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	16.3	22.1	27.0	23.0	18.5	10.6	4.8
平成16年							
インターネットを利用した世帯員がいる	46.9	57.0	67.5	68.3	54.4	34.5	17.7
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	18.2	25.6	29.2	27.9	20.2	12.7	5.1
平成17年							
インターネットを利用した世帯員がいる	50.1	56.9	68.8	71.8	59.8	38.4	20.4
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	21.7	26.8	33.7	34.1	25.8	14.1	7.3
平成18年							
インターネットを利用した世帯員がいる	53.5	66.4	72.7	76.2	62.0	42.7	23.9
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	21.6	33.3	33.7	31.8	25.6	15.2	7.5
平成19年							
インターネットを利用した世帯員がいる	54.9	61.0	76.4	78.7	64.6	44.1	24.6
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	23.7	29.7	38.5	34.5	28.3	17.7	7.7
平成20年(a)							
インターネットを利用した世帯員がいる	57.2	70.7	78.1	80.6	69.7	48.8	27.1
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	25.2	35.9	41.3	39.4	31.4	18.0	8.7
平成21年(b)							
インターネットを利用した世帯員がいる	61.0	74.2	81.8	81.9	73.6	52.7	30.1
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	28.6	43.1	44.7	43.2	36.2	20.6	10.1
ポイント差(b-a)							
インターネットを利用した世帯員がいる	3.8	3.5	3.7	1.3	3.9	3.9	3.0
インターネットを通じて注文をした世帯員がいる	3.4	7.2	3.4	3.8	4.8	2.6	1.4

(注) 年齢階級ごとの世帯総数に対する割合。図5も同じ。

図5 世帯主の年齢階級別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）－平成21年



3 世帯主の職業別

(1) インターネットが利用できる機器の保有割合が最も高いのは雇用されている人の世帯

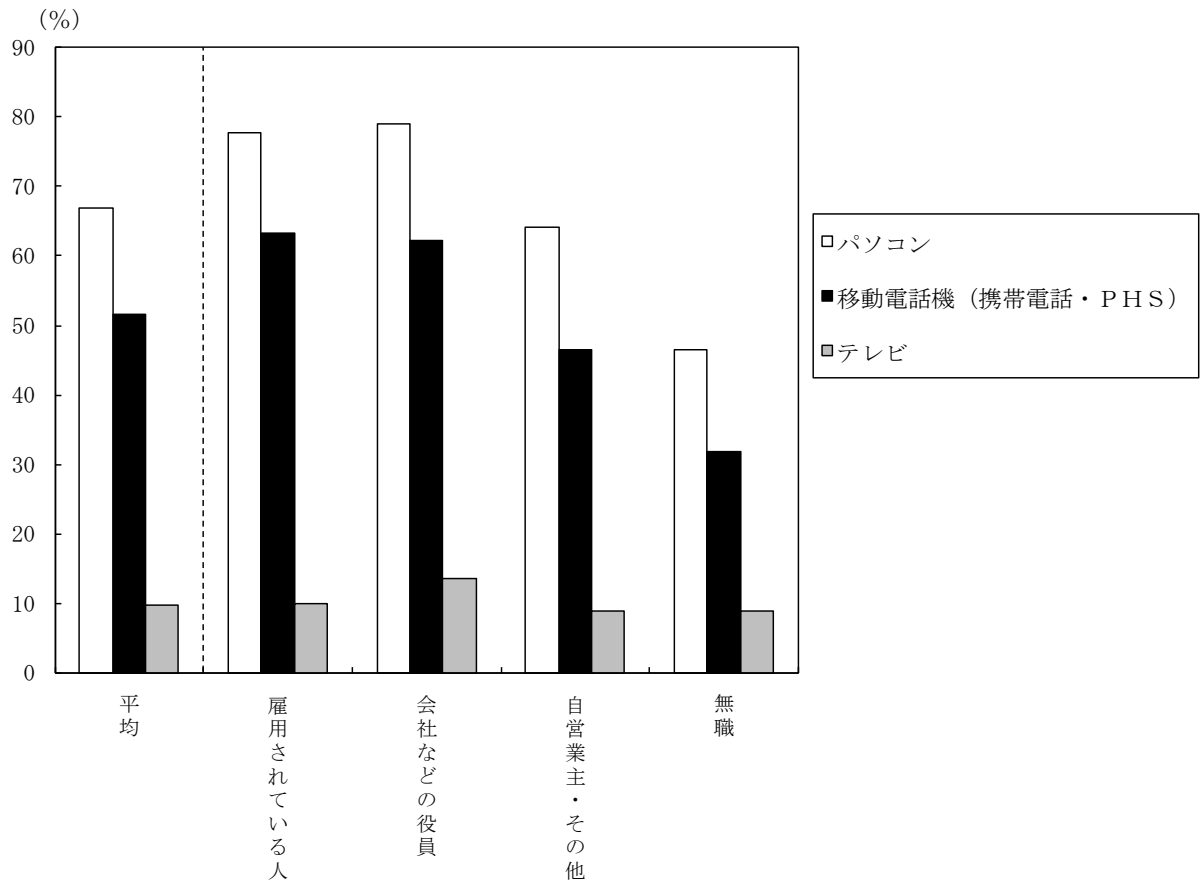
二人以上の世帯について、インターネットが利用できる機器を保有している世帯の割合を世帯主の職業別にみると、雇用されている人が84.9%と最も高く、次いで会社などの役員が83.9%、自営業主・その他が70.9%などとなっている。(表6、図6)

表6 世帯主の職業別インターネットが利用できる機器の保有状況(二人以上の世帯)

		(%)				
		平均	雇用されて いる人	会社などの 役員	自営業主 ・その他	無職
平成14年	保有している	52.7	64.3	68.1	46.8	29.3
	パソコン	45.3	55.0	62.3	40.1	25.1
	移動電話機(携帯電話・PHS)	36.5	46.9	48.3	31.3	15.6
	テレビ	7.1	7.1	13.0	7.8	5.4
	保有していない	46.2	35.0	31.2	52.0	68.9
平成15年	保有している	58.6	71.0	71.4	55.0	33.3
	パソコン	51.3	62.2	66.0	47.4	28.6
	移動電話機(携帯電話・PHS)	41.6	53.5	52.1	37.7	18.2
	テレビ	7.6	7.1	12.5	8.7	6.6
	保有していない	40.5	28.3	28.0	43.9	65.3
平成16年	保有している	60.8	72.8	74.8	58.7	37.4
	パソコン	53.1	64.1	69.0	50.3	31.6
	移動電話機(携帯電話・PHS)	44.7	56.8	56.1	41.0	22.7
	テレビ	7.9	7.9	14.0	8.3	6.5
	保有していない	38.3	26.7	24.4	40.0	61.2
平成17年	保有している	62.8	75.0	76.6	58.7	40.2
	パソコン	55.6	66.7	70.4	51.9	34.4
	移動電話機(携帯電話・PHS)	46.0	58.1	58.9	40.7	24.4
	テレビ	8.6	8.5	12.4	9.1	7.9
	保有していない	36.3	24.5	22.8	40.5	58.3
平成18年	保有している	65.4	77.2	77.6	62.4	43.3
	パソコン	59.2	69.9	73.3	56.0	38.8
	移動電話機(携帯電話・PHS)	45.9	57.8	56.0	41.1	24.9
	テレビ	7.2	6.8	12.6	6.9	7.3
	保有していない	33.0	21.8	21.7	35.8	54.4
平成19年	保有している	67.5	79.2	80.7	62.9	45.8
	パソコン	60.4	71.7	74.4	55.6	39.8
	移動電話機(携帯電話・PHS)	48.3	61.0	58.6	42.3	26.6
	テレビ	8.4	8.2	12.0	8.9	7.9
	保有していない	31.3	20.0	18.5	35.6	52.3
平成20年(a)	保有している	70.0	81.8	80.4	67.5	48.9
	パソコン	63.2	74.7	75.7	60.7	42.5
	移動電話機(携帯電話・PHS)	49.8	62.9	56.4	43.9	29.3
	テレビ	8.8	8.5	12.3	9.0	8.5
	保有していない	29.6	17.9	19.3	32.1	50.5
平成21年(b)	保有している	73.7	84.9	83.9	70.9	53.2
	パソコン	66.8	77.7	79.0	64.1	46.5
	移動電話機(携帯電話・PHS)	51.7	63.3	62.2	46.5	31.8
	テレビ	9.7	10.0	13.6	9.0	8.8
	保有していない	26.1	15.0	16.1	28.8	46.3
ポイント差(b-a)	保有している	3.7	3.1	3.5	3.4	4.3
	パソコン	3.6	3.0	3.3	3.4	4.0
	移動電話機(携帯電話・PHS)	1.9	0.4	5.8	2.6	2.5
	テレビ	0.9	1.5	1.3	0.0	0.3
	保有していない	-3.5	-2.9	-3.2	-3.3	-4.2

(注) 職業ごとの世帯総数に対する割合。図6も同じ。
保有している機器の種類は複数回答。

図6 世帯主の職業別インターネットが利用できる主な機器の保有状況（二人以上の世帯）－平成21年



(2) インターネットを利用した世帯員がいる割合が最も高いのは雇用されている人の世帯

二人以上の世帯について、インターネットを利用した世帯員がいる世帯の割合を世帯主の職業別にみると、雇用されている人が73.5%と最も高く、次いで会社などの役員が72.0%、自営業主・その他が56.9%などとなっている。

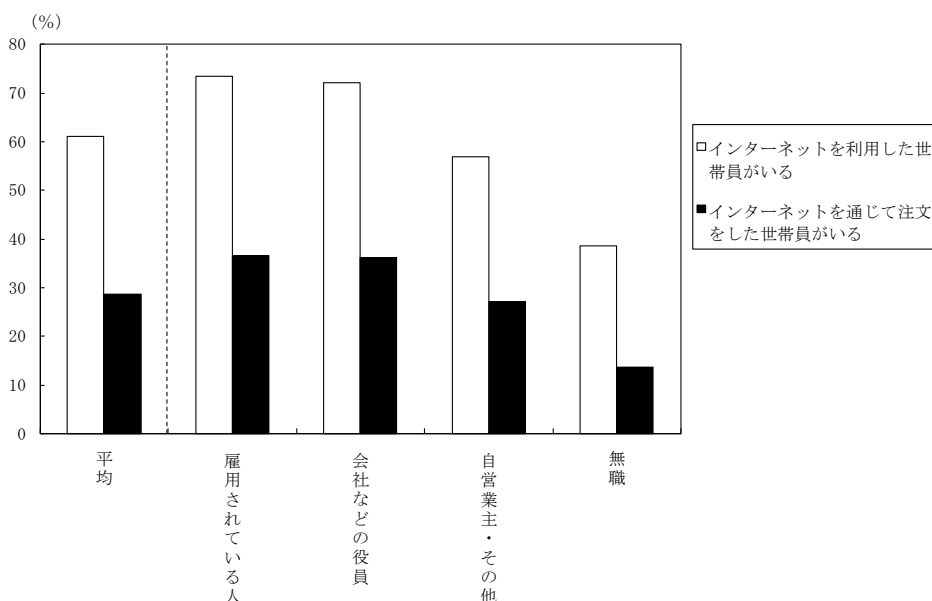
また、商品・サービスを購入する際に、インターネットを通じて注文をした世帯員がいる世帯の割合を世帯主の職業別にみると、雇用されている人が36.6%と最も高く、次いで会社などの役員が36.1%、自営業主・その他が27.2%などとなっている。(表7、図7)

表7 世帯主の職業別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）

	平均	雇用されている人	会社などの役員	自営業主・その他	無職
(%)					
【インターネットを利用した世帯員がいる】					
平成14年	39.6	50.0	55.0	33.0	18.9
15	44.8	56.3	58.1	39.7	22.1
16	46.9	58.7	62.3	43.0	24.8
17	50.1	62.0	65.2	45.4	27.8
18	53.5	65.4	67.4	48.9	31.5
19	54.9	67.8	68.3	48.0	32.6
20 (a)	57.2	70.5	70.0	53.8	33.8
21 (b)	61.0	73.5	72.0	56.9	38.6
ポイント差(b-a)	3.8	3.0	2.0	3.1	4.8
【インターネットを通じて注文をした世帯員がいる】					
平成14年	12.1	15.1	19.6	10.7	5.1
15	16.3	20.7	24.2	14.7	6.4
16	18.2	23.1	27.7	16.4	8.5
17	21.7	27.9	31.2	19.0	10.0
18	21.6	27.5	29.1	20.1	10.3
19	23.7	30.4	33.0	20.2	11.5
20 (a)	25.2	32.5	36.1	23.7	11.2
21 (b)	28.6	36.6	36.1	27.2	13.6
ポイント差(b-a)	3.4	4.1	0.0	3.5	2.4

(注) 職業ごとの世帯総数に対する割合。図7も同じ。

図7 世帯主の職業別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）－平成21年



4 年間収入階級別

(1) インターネットが利用できる機器の保有割合は年間収入階級に比例して高くなる傾向

二人以上の世帯について、インターネットが利用できる機器を保有している世帯の割合を年間収入階級別にみると、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向がある。

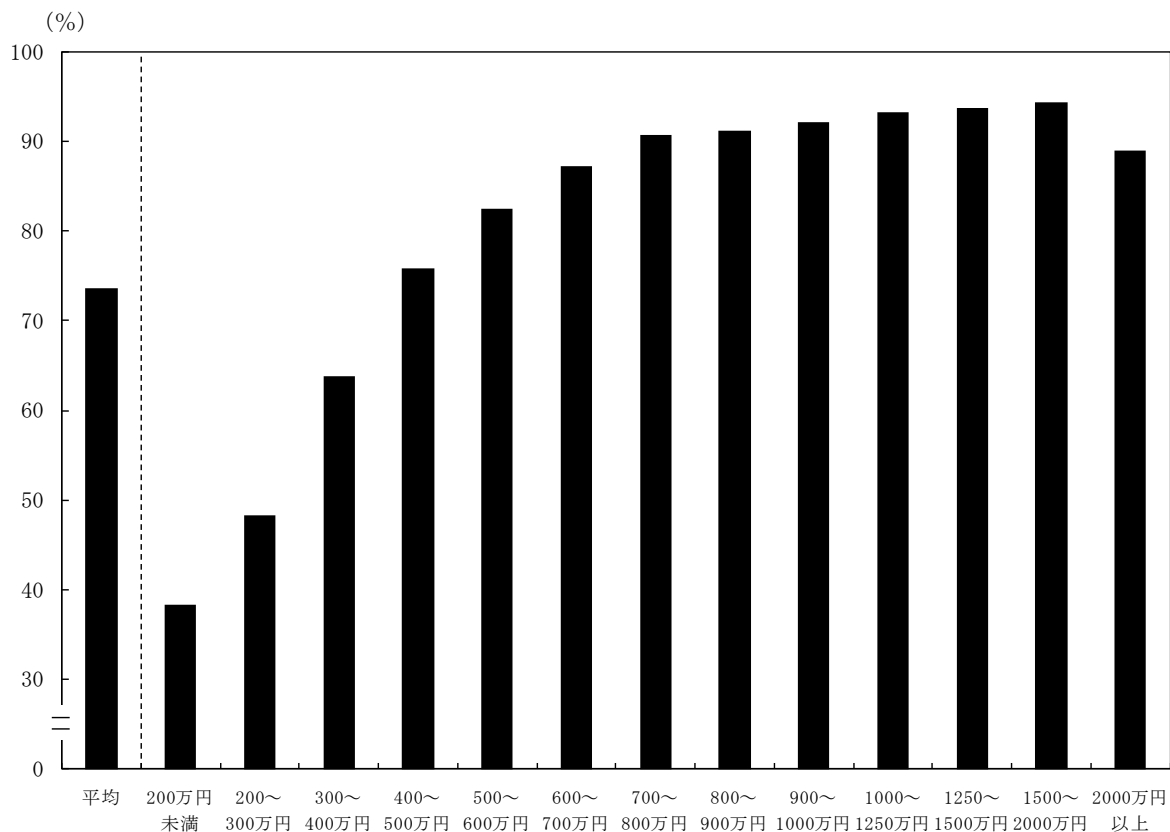
(表8、図8)

表8 年間収入階級別インターネットが利用できる機器の保有状況（二人以上の世帯）

	平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
平成14年	52.7	19.4	23.5	37.8	48.9	56.0	64.3	68.8	74.7	78.7	83.1	81.9		
15	58.6	20.9	30.5	42.5	56.0	63.0	70.3	76.1	79.2	83.1	84.9	83.6		
16	60.8	23.3	33.6	46.3	59.0	67.6	74.2	78.6	84.1	85.7	87.3	86.1		
17	62.8	24.5	35.8	48.8	62.9	70.3	73.7	79.2	85.7	86.2	90.9	86.1		
18	65.4	27.3	37.8	53.4	64.7	73.6	77.8	81.9	86.4	88.3	92.8	88.8		
19	67.5	31.5	40.3	55.3	67.1	75.5	81.3	84.1	86.9	89.0	91.3	93.4		
20	70.0	32.8	44.9	58.0	70.7	79.8	82.4	86.9	89.6	93.7	92.8	93.1		
21	73.7	38.3	48.3	63.8	75.8	82.5	87.2	90.8	91.2	92.2	93.2	93.8	94.4	89.0

(注) 年間収入階級ごとの世帯総数に対する割合。図8も同じ。
平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

図8 年間収入階級別インターネットが利用できる機器の保有状況（二人以上の世帯）－平成21年



(2) 年間収入階級が高いほどインターネットを利用した世帯員がいる世帯の割合は高くなる傾向

二人以上の世帯について、インターネットを利用した世帯員がいる世帯の割合を年間収入階級別にみると、年間収入階級が高いほど割合が高くなる傾向がある。

また、商品・サービスを購入する際に、インターネットを通じて注文をした世帯員がいる世帯の割合は、年間収入階級が高いほど高くなる傾向があり、年間収入階級2000万円以上の世帯では52.2%となっている。(表9、図9)

表9 年間収入階級別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）

		(%)													
		平均	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～600万円	600～700万円	700～800万円	800～900万円	900～1000万円	1000～1250万円	1250～1500万円	1500～2000万円	2000万円以上
【インターネットを利用した世帯員がいる】															
平成14年		39.6	11.8	14.3	24.4	35.2	41.2	47.5	51.8	61.4	64.5	71.1	68.6		
15		44.8	12.5	18.9	28.2	39.7	46.6	54.7	61.9	65.7	70.4	73.9	71.3		
16		46.9	13.2	20.8	30.9	42.9	51.3	60.8	63.7	70.5	75.1	77.1	76.6		
17		50.1	14.4	23.1	33.6	47.8	55.0	61.4	67.1	75.6	76.7	81.8	77.9		
18		53.5	16.2	24.6	37.9	50.4	60.6	65.2	72.0	77.6	81.3	86.8	81.9		
19		54.9	18.2	26.7	39.9	53.0	62.1	68.0	71.2	77.3	79.9	86.4	87.0		
20		57.2	19.4	29.5	41.9	55.2	66.0	71.1	76.2	80.5	86.5	87.6	85.9		
21		61.0	23.0	32.3	47.9	61.0	69.2	75.2	80.5	82.1	83.6	87.5	87.1	87.0	83.8
【インターネットを通じて注文をした世帯員がいる】															
平成14年		12.1	3.9	3.0	6.1	9.7	12.4	14.4	15.4	19.2	22.3	26.8	27.5		
15		16.3	3.1	5.2	9.1	13.0	15.5	18.3	24.5	26.4	28.4	29.8	33.3		
16		18.2	3.9	6.2	10.6	15.2	18.1	23.6	25.5	30.2	33.3	37.7	34.2		
17		21.7	4.1	7.5	12.0	19.5	22.4	27.2	29.7	37.0	37.4	45.1	43.0		
18		21.6	5.3	7.8	12.5	18.1	25.0	24.7	31.6	34.6	37.1	40.9	41.7		
19		23.7	5.7	9.4	13.8	19.6	26.0	30.8	31.7	36.8	41.3	44.4	49.5		
20		25.2	6.8	10.1	16.1	20.5	28.4	30.7	34.3	39.0	44.4	47.6	52.4		
21		28.6	8.6	12.1	18.1	25.9	32.1	33.5	41.9	41.7	46.2	49.4	48.7	51.3	52.2

(注) 年間収入階級ごとの世帯総数に対する割合。図9も同じ。
平成21年から年間収入階級の区分を変更した。

図9 年間収入階級別インターネットの利用状況（二人以上の世帯）－平成21年

